



2016.6.7(火)

ドンドンアップ

147
-2

6月は環境月間。家庭から出る不要衣類の7割以上が焼却処分されるなか、古着の3R（リデュース・リユース・リサイクル）活動を積極的に推進しているのが、国内外69店舗の古着店「ドンドンタウン オン ウェンステイ」を展開しているドンドンアップ（岩手県盛岡市）だ。

古着店に限らず大半のリユースショップは、売れそえないものは買い取りを

古着の3RでCO₂削減

断るか値段がつかない。だがドンドンアップは、どんな状態の服でも全品買い取るため、気軽に古着を持ち込める。状態やデザインが良好な指定ブランドの衣類・服飾雑貨は1点ごとに査定し、そのほかの衣類・服飾雑貨は量り買いしている。

2015年度の回収量は1点査定分195ト、量り買い4882ト。メーカーなど他社からの引き取り837ト、行政による回収からの買い取り489トを合

15年度は5万ト弱

わせた総重量は6408トなど20日国以上に輸出。日だった。これを環境省の「3R行動見える化ツール」で環境負荷削減効果を算出すると、杉の木約344万本分の年間吸収量に相当する4万8179トのCO₂を削減したことになる。また日本製の古着は着古した欧米品より高品質でデザイン性も高いため、ジャパン・クオリティ」と称され、人気があるという。また損傷が激しくてもウエスや反毛材として再利用される。

07～15年度累計の衣類回収は4万3678ト（Tシャツ1億7470万枚分）。国の80%、ドイツの50%、米国の25%などに比べて低い。ドンドンアップは今後、古着リユースが環境や人の役に立つものだという共感の醸成に努めていく。